



# TAO塾通信

2017年 冬号

編集者 波多野毅 発行元 一般社団法人TAO塾 2017年12月25日(月)発行 通刊64号  
 〒869-2501 熊本県阿蘇郡小国町宮原908-4 TEL & FAX 0967(46)3913 携帯090(1978)3386  
 E-mail:wildoats@bronze.ocn.ne.jp mobile-mail:taojuku@me.com Facebook & blog ほぼ毎日更新中  
**一般社団法人TAO塾 新ホームページ** <http://taojuku.jimdo.com/>  
**TAOリトリート&cafe 新ホームページ** <http://taoretreat.jimdo.com/>

Towards enjoying 21 <sup>st</sup> century	1 独立自由人 2 知的野生人 3 草根世界人	Be independent and free. Be intellectual yet down-to-earth. Be international yet act locally.
---	-------------------------------	---

## 九州で2番目！行政と民間のコラボ子ども食堂@小国

一般社団法人 TAO塾代表 波多野毅

学生の頃、奨学金を頂いていたご縁で、小国町出身でビジネスの世界で成功された永江不動産創業者の故永江一郎さんには、生前ご自宅を訪ねては色々お話を聞かせて頂いていた。ご自身の体験を踏まえ、経済的問題で学びたくとも学校に行けない子ども達がいてはいけないと、故郷の子ども達へ奨学金を与え続けておられた。奨学金返済のため風俗店でバイトをする女子学生が増加しているといったニュースが飛び出すほど社会問題化している日本の奨学金制度だが、永江さんがされていたのは無償給付型奨学金であった。

人から受けた厚意をその相手に対して返す「恩返し」ではなく、恩や厚意を他の人にリレーすることを「恩送り」という。今や死語に近い言葉だが、江戸時代には「情けは人の為ならず」と同じく、このような発想が普通にあったらしい。永江さんの奨学金は、まさに未来を担う故郷の子ども達への「恩送り」であった。

「恩送り」は、何も富裕層でなくとも、気持ちと時間を皆で少しづつ出し合って実現することも出来る。

今夏、小国町の行政、社協、食改、そして民間がコラボして「悠愛子ども食堂」(奴留湯哲宜会長)を立ち上げた。原則、月一回第一土曜日に、パラソルセンターに地域の子どもからご老人まで年齢に関わらず集い、ランチを会食する地域食堂だ。食材は、お店をされている方が食材を提供してくれたり、農家の方が流通に出せない不揃いの野菜を持って来てくれたり。それを、食改のお母さん達が美味しい料理してくれる。子ども達はお料理の手伝いをしたり、紙飛行機飛ばしの名人の地域のお兄さんと一緒に遊んだり、漢字パズルで楽しいお勉強をしたり・・・。モノもヒトも小国産。食を共にすることで、心と心のふれあいが生まれつつある。

「恩送り」に見られる「交換」ではなく「贈与」の経済が今、ギフトエコノミーという名で注目されつつある。今、国内外で静かな広がりを見せている贈与経済の報告を、10月に熊本学園大学の経済学入門、11月に近畿大学の経営分析、12月に熊本大学のグローバルシッププログラムでお話させて頂いた。

来年、1月6日(土曜)に「子ども食堂@小国町」、1月9日(火曜)に「いいねキッチン@熊本市大江」を開催予定！ボランティア大歓迎。



## ひろこ先生の一口養生コラム

北里洋子 (TAO塾料理&書道講師)

毎年、小国町の文化祭に子どものクラスの楷書、大人のクラスの行書、草書のほか、宮沢賢治、金子みすゞ、ミヒヤエル・エンデなどの作品の一部を抜粋したものを展示しています。

今年の文化祭には、「四字熟語」を隸書に書いて展示しました。

たった四文字の漢字で構成された簡潔な表現の中に、人情の機微を巧みに表し、鋭く社会や世相を風刺した、深淵なる英知が詰まっています。「四字熟語」を「座右の銘」として人生の指針にしている人も多いです。大相撲力士の昇進伝達式の口上などにもよく使われています。その字面の美しさ、格調高き歯切れ良さは、古人の智慧の結晶と言ってよいでしょう。

今回、展示した五臓六腑、望聞問切、肝胆相照、頭寒足熱、臍下丹田、小国寡民などの四字熟語は、TAO塾代表の波多野が雑誌に連載中の東洋哲学の「陰陽」の観点で解説したものをお記しています。書道教室は毎週火曜18時半～子供クラス、木曜9時半～大人クラスを開催しています。

美しい字は一生の宝です。

興味がある方は090(1978)3386(北里)まで



## ともこ先生のシネマレポート

天野朋子 (TAO塾料理&英語講師)

映画「リトル・フォレスト」は、都会に居場所を見つけられず、実家のあった東北の小さな村に帰り、お米や野菜をつくりながら半自給自足生活をしている若い女性 いち子を主人公にした物語です。甘酒、お焼き、くるみご飯、ジャム、藁苞納豆、干し柿などを手作りするシーンが次々に出てきて、不便を楽しみながら丁寧に暮らす喜びが静かに伝わってきます。自然派バリバリの方から見れば、ツッコミどころも所々にあると思いますが（「皮むかなくてもいいのに！」とか・・・ 笑）、美しくスタイリッシュな映像が誰にでも楽しめる雰囲気を作り上げている、素敵な映画だと思います。

お金を出せばすぐに何でも買える時代。でも、自分で食べるものを自分でつくれるようになるのは、なんだか「底力」がついたような、「生きるパワー」がアップしたような気持ちをもたらしてくれるのではないかでしょうか。

2018年 TAO塾お料理教室@熊本市 は、3月から毎月開催します。

玄米や雑穀、豆、海草などをふんだんに使った「懐かしい未来食」が、誰でも簡単につくれるようになります。ぜひご参加下さい。

お問い合わせ : taojuku@gmail.com



## TAO塾卒業生 NEWS

### 麻生大策君

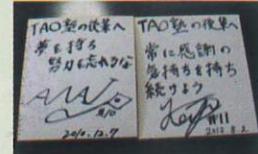
脱サラし、ビジネスや心理学の勉強をし、1600冊の本を読破して、ベンチャー会社を起業。

来年1月には、彼が書いた「25歳のあなたへ」(カナリア出版)という本が出る予定。

### 穴井善博君

フィールドホッケーの天理大学の監督、そして全日本監督として活躍中。

2020年開催の東京オリンピックには、彼が監督、アジアカップで活躍した北里謙治君がチームリーダーで出場して欲しいものです。

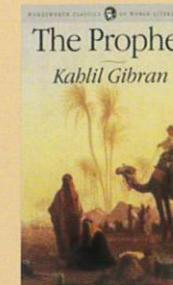


# TAO 塾文庫から

毎年、息子達の誕生日にはジョン・レノンのビューティフルボーイを聴きながら、ジョンが愛したレバノンの詩人ハリール・ジブラーンの本を読む事にしている。この詩が載っている『預言者』はジョンのほか、谷川俊太郎、マイケルジャクソン、美智子皇后までが愛読している。

## 「子供について」(ハリール・ジブラーン)

あなたの子供は、あなたの子供ではない。  
彼らは、人生そのものの息子であり、娘である。  
彼らはあなたを通じてくるが、あなたからくるものではない。  
彼らはあなたと共にいるが、あなたには屈しない。  
あなたは彼らに愛情を与えていいが、あなたの考えを与えてはいけない。  
何故なら、彼らは彼ら自身の考えを持っているからだ。  
あなたは彼らのからだを入れてもいいが、彼らの心をあなたの家に入れてはいけない。  
何故なら、彼らの心はあなたが夢の中で訪ねてみることもできないあしたの家に住んでいるからだ。  
あなたは彼らのようになろうとしてもいいが、彼らをあなたのようにしようとしてはいけない。  
何故なら、人生は後戻りもしなければ、昨日と共にためらいもしないからだ。

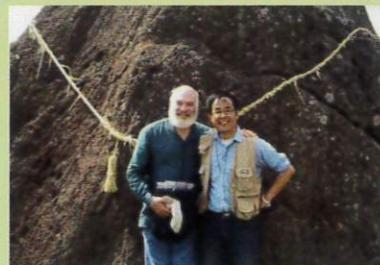


## 人間は出逢うべき人には必ず逢える。一瞬遅からず一瞬早からず。

私の尊敬する教育者・森信三先生の言葉だ。今年も、これまで、不思議なご縁で沢山の有り難い出会いを頂いた。来年も、出会いと交流を楽しもう！



ピュリッサー賞のゲイリースナイダー 「自然治癒力」の著者・アリゾナ大学医学部の  
絶賛の詩人ナナオ・サカキ(2001) アンドルー・ワイル博士 (2007) ヘンリー・ディビッド・ソローの子孫(2015)



作家・坂口恭平さんと原始力充電ツアー 料理研究家・中島テコさんと対談ライブ

人生の達人・大野勝彦さんとコラボ講演

# 懐かしい未来～小国寡民の風景



## 花嫁のご近所回り

私の両親の結婚式の時に、祖母が文金高島田を着込んだ母を引き連れて近所(土田)に挨拶参りをしている写真。土の道、藁葺き屋根の家、なんともスローな時間の流れを感じる。この翌年昭和37年私が生まれる事になる！



## おかえり~ただいま

川にかかる小さな橋の上のワンシーン。仕事を終えて帰るところに、喜びいさんで母親に駆け寄る子ども。温かい親子の情を感じる写真。橋の下で水を飲む牛がなんともどかでいい。ゆったりした時間のある流れを感じる。



2500年前、中国の春秋時代の思想家・老子は、「柔弱は剛強に勝つ」「小を大とし、少を多とする」と説き、「水」や「女性」や「赤子」といった、一見弱者とみられるものの持つ本性に真の強さを見出し、そこに人間の本来の生き方を示した。

数年前、私がブログにふと書いた老子の「小国寡民」の小文が、トヨタ自動車の雑誌の裏表紙に掲載された。「小国町」は、懐かしい未来の風が流れる“素”的な町だ！



自然と人の調和

た  
小国寡民